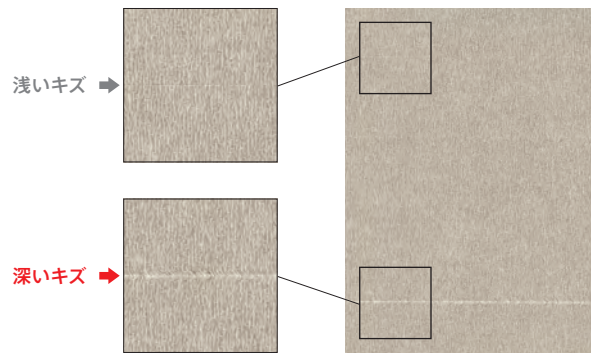


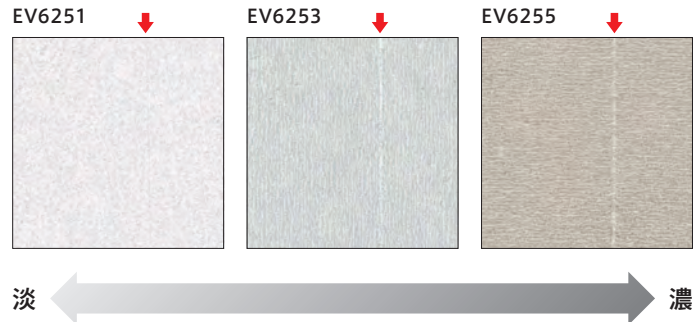
## 選択上のご注意 / 施工時におけるジョイント注意事項

- 人や物が壁紙に接触し表面が傷つきますと、表面の印刷層が破損しキズが目立つ場合があります。廊下など人や物が接触しやすい場所を避けるなど、張り場所を選ぶことが重要です。濃色壁紙は特に留意ください。

- 壁紙表面(インク層)を削るような深いキズ(➡)は大きく目立ちやすいので取扱いにご注意ください。



- 色が濃い程、キズが目立ちやすい傾向にあります。



- EV6252、6257は濃色ですが表面インク層だけでなく、樹脂層にも色が入っているためキズが目立ちにくくなっています。階段等、キズが付きやすそうな場所に適しています。(裏打紙に届く程のキズはその限りではありません。)



## 施工時におけるジョイント注意事項

### 端部同士以外のジョイント左右差

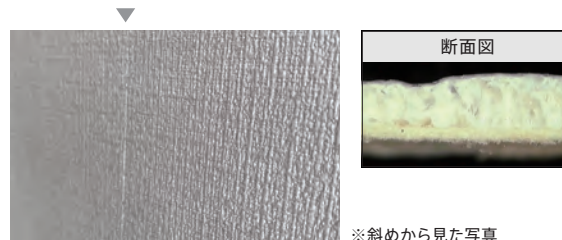
壁紙の端部と端部以外でのジョイントは左右差の原因になるため避けてください。濃色の壁紙は左右差が強く生じる場合がありますため、特にご注意ください。濃色の壁紙は端部同士でジョイントした場合でも、ジョイント部分で左右の濃淡によりジョイントが目立つことがあります。



※写真はジョイント左右差を強調しています。

### 白く見える小口の例

濃色の壁紙は見る角度によりジョイントが白く見えることがあります。色が濃い程、小口が目立ちやすい傾向にあります。



## その他

間接照明や斜光を受けた面は、壁紙下地の凹凸が見えやすい傾向にあります。この見本帳では壁紙ごとに不陸隠蔽性等級を評価しています。数字が大きいほうが隠蔽性に優れています。(P.19 GRAZIOSO一覽参照)ただし、壁紙だけで下地の不陸をカバーすることはできません。

壁紙は、見本帳サイズで見たときと、実際に大きな壁に施工されたときでは柄の印象が異なることがあります。

### 1. 入居後の換気

入居後、室内に施工時の臭いが残っている場合がありますので、一週間程度は換気を十分に行ってください。

### 2. 直射日光、暖房器具からの保護

直射日光や熱風が長時間当たる場所では、変退色するおそれがあります。カーテンやブラインド等での日除けを心掛けてください。またストーブ等の暖房器具の熱風は直接壁紙に当たらないようにしてください。特に中～濃色の壁紙は変退色しやすいためご注意ください。熱を帯びやすい器具も、変形変色、目隙やはがれの原因となります。

### 3. 粘着テープを貼らない

粘着テープ(セロハンテープ、ガムテープ、マスキングテープ等)を壁紙に付着させないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また粘着テープをはがす時に壁紙を破損することがあります。

### 4. 汚れが付着したら

飲料水や調味料等の水性汚れが付いたら、すぐに清水で絞った布で軽く叩くように拭き取ってください。

• 壁紙の汚れには多種多様なものがあります。重要なことは汚染物質を付着させないことと、付着したら直ちに拭き取ることです。(※1)

#### 手垢等について

汚れが染み込まないうちに処理することが大切です。軽い汚れは消しゴムや食パンの柔らかい部分で丁寧に軽く擦り落してください。それでも汚れが残る場合は、柔らかい布を水、又はぬるま湯で薄めた中性洗剤に浸し、固く絞った上で、軽く叩くように拭き取ってください。(※1)

#### 注:(※1)

- 中性洗剤以外の洗剤やシンナー等の有機溶剤は、変色や表面破壊の原因となりますので、使用しないでください。また、表面に洗剤等が残ると変色しやすくなりますので、仕上げは清水で少し湿らせた布を使い、丁寧に軽く拭き取ってください。
- 布等でごしごし擦ると壁紙が破損する場合があります。特に中～濃色の壁紙は色落ちしやすく注意が必要です。無理に落とさず、丁寧に軽く叩くようにして汚れを軽減させてください。研磨剤の入っているスポンジ等も使用はお控えください。
- アルコールを含んだ洗剤は使用しないでください。

#### ほこりについて

定期的に掃除機で取り除くようにすると、きれいに保つことができます。長時間にわたって付着したほこりは、湿気を吸って頑固な汚れとなり、落ちにくくなります。

### 5. 湿気を避ける

カビ発生の原因となる結露の発生及び湿気を防ぐ為、室内の換気や湿度調整を心掛けてください。

### 6. 壁紙がはがれてきたら

施工後、経時変化(結露や乾燥など)により、部分的にはがれが生じる場合があります。早めに壁紙用接着剤(又は工作用のでん粉糊に木工用ボンド(1～2割)を混ぜたもの)を壁紙裏面に塗り、少し待って塗布面が柔らかくなってから、表面に糊が着かないように圧着して補修してください。

### 7. タバコの煙、厨房の油煙について

タバコの煙や厨房からの油煙は、壁紙を短時間で黄変させ頑固な汚れとなります。強制換気を心掛けてください。

### 8. 油性マーカーを付着させない

油性マーカーは落とすことができません。

### 9. 薬品や化粧品類を付着させない

殺虫剤・塗料スプレー・化粧品等を壁紙に付着させないでください。壁紙が変色することがあります。

### 10. 家具と壁紙との間は空間を保つ

家具を壁紙に密着させると、家具の塗料に含まれる色素などにより、壁紙が変色することがあります。

### 11. キズを付けない

壁面表面の破損は補修が困難です。特に中～濃色の壁紙はキズが目立ちやすいため注意が必要です。日常生活において家具や硬くて鋭利なものを当てないように注意してください。

### 12. ジョイント部分の注意について

ジョイント部分に物を当てたり擦らないように心掛けてください。

## 施工上のご注意

### ■ 共通注意事項

- 施工する前に**
- 商品によっては施工要領書を同封しております。施工要領書をよく読んで施工してください。
- 下地処理**
- 下地処理は丁寧に行ってください。  
間接照明のあたる場所や吹き抜け、窓からの斜光が当たる場所は特にご注意ください。
- 糊付け・養生**
- 折れジワを防ぐため、糊付け後は折り目が着かないように大きくたたみ、重ね置きしないでください。
  - アイハギを防ぐため、糊付け後は養生袋にて保管ください。
  - オープンタイム目安を参考にし、当日の気温湿度によってオープンタイムを調整してください。
- 張り付け**
- 3巾程度張った後、左右の色差など商品に問題がないことを確認した上で作業を進行してください。  
問題がある場合はご連絡ください。
  - 撫で付けは柔らかい刷毛を使用してください。  
硬い刷毛は表面を傷つけたり目曲がりの原因となりますので使用しないでください。
  - 撫で付け、エア抜きはタテ方向を基本としてください。  
ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因となりやすい為、控えてください。
  - ローラー掛けはソフトローラーでジョイントの左右を丁寧に押さえてください。  
ジョイント部分を押しすぎるとテカリ・つぶれ等の原因となります。
  - カッターの刃は薄刃を使用しこまめに交換してください。切り損じの原因となります。
  - ジョイントをカットする際は、下敷きテープを使用し、下地を切らないようにご注意ください。
  - ジョイントは端部同士で行ってください。端部以外でジョイントするとジョイント部分が目立つ場合があります。

端部以外のジョイント例



- 糊の拭き取り**
- 壁紙表面に糊を付着させないようにご注意ください。
  - 壁紙表面に糊が付いた場合は荒拭き、中拭きとスポンジを変えながら丁寧に拭き取り、最後に柔らかい布で乾拭きをしてください。糊が付着したままで放置するとカビや変色の原因となります。  
硬い布での乾拭きや強い摩擦はテカリ・つぶれ、色落ち等の原因となりますのでご注意ください。
  - 中～濃色の壁紙は変退色しやすいためご注意ください。

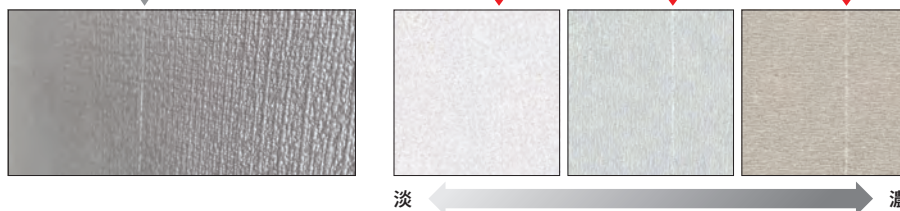
### ■ 壁紙別注意事項

- 品番末尾「3～5、8、9」**
- 自動糊付け機にセットした壁紙に加わるテンションが弱い状態で糊付け機を稼働しますと、シワになる場合がありますのでご注意ください。
- 品番末尾「1、2、6、7」**
- ローラー掛けにはソフトローラー（幅広のハイウレタンローラー推奨）をご使用ください。
  - ローラーを掛ける際は、押しすぎないように力加減にご確認ください。  
ジョイント部分を押しすぎるとテカリ・つぶれ等の原因となります。
  - 糊は希釈率を守り、130g/m<sup>2</sup>の塗布量で施工してください。
- 色が濃い壁紙**
- 色が濃い壁紙程、汚れが白く目立ちやすいものです。糊付着等の場合は、出来るだけ早く丁寧に拭き取ってください。
  - 色が濃い壁紙程、ジョイント部分の小口が白く見えやすいものです。ジョイント部分が段差にならないように丁寧にやさめてください。斜め方向から確認する等、注意して施工してください。
  - 色が濃い壁紙程、キズが目立ちやすくなります。取扱いにご確認ください。

白く見える小口の例

※斜めから見た写真

色の濃淡とキズの目立ち具合（表面の印刷層が破損した場合）



- その他**
- 施工中、施工後とも、冷暖房や風による急激な乾燥は避け、自然乾燥させてください。  
急激な乾燥は、目隙、剥がれの原因となります。



■ ローラー掛け時の注意事項

壁紙全点

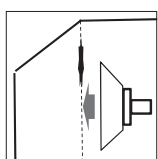
ローラーについて

ソフトローラーを使用してください。  
幅広タイプのハイウレタンローラーを推奨します。  
※ソフトローラーであっても、劣化により硬くなる場合があります。ご注意ください。

ジョイントのおさめ方

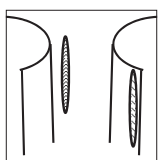
強く押さえると、テカリ・つぶれの原因となります。  
ジョイントをおさめる際は、力加減を調整し、ジョイント左右を丁寧に押さえてください。

品番末尾  
「3~5、8、9」



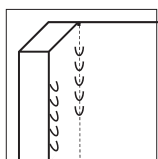
破れ(入隅・出入枠際)を軽減させるため

施工糊の塗布量を増やしてください。  
融通性が向上します(目安:130g/m<sup>2</sup>、施工マニュアル推奨塗布量)。  
オープンタイムを長めにとってください(目安:15分以上)。  
外力に対して壁紙が追従しやすくなります。  
※ジョイントをおさめる際、糊のはみ出しにご注意ください。



裏紙残り(アイハギ)を軽減させるため

施工糊の塗布量を増やしてください(目安:130g/m<sup>2</sup>)。  
壁紙端部の裏紙露出部分をスリッターで除去してください。  
下敷・カットテープで壁紙端部の糊面を覆ってください。  
※ジョイントをおさめる際、糊のはみ出しにご注意ください。



出入隅の浮きを軽減させるため

オープンタイムを長めにとってください(目安:15分以上)。  
壁紙が下地に馴染みやすくなります。  
施工糊の塗布量を増やしてください(目安:130g/m<sup>2</sup>)。  
融通性が向上します。  
※ジョイントをおさめる際、糊のはみ出しにご注意ください。

GRAZIOSO 一覧

品番	使用部位	壁紙の種類	有効幅(cm)	リピート(cm)		柄合わせ (エンボス又は プリント)	機能				不陸 隠蔽性 等級	防火性能(直張り)		オープン タイム
				タテ	ヨコ		表面3級	空気環境 対応品	不燃石膏 ボード	準不燃下地				
EV6251	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌	表面3級	空気環境 対応品	F5	準不燃 QM-0886	準不燃 QM-0886	約15分
EV6252	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌	表面3級	空気環境 対応品	F5	準不燃 QM-0886	準不燃 QM-0886	約15分
EV6253	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌		空気環境 対応品	F4	準不燃 QM-0399	準不燃 QM-0399	約15分
EV6254	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌		空気環境 対応品	F4	準不燃 QM-0399	準不燃 QM-0399	約15分
EV6255	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌		空気環境 対応品	F4	準不燃 QM-0399	準不燃 QM-0399	約15分
EV6256	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌	表面3級	空気環境 対応品	F3	準不燃 QM-0886	準不燃 QM-0886	約15分
EV6257	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌	表面3級	空気環境 対応品	F3	準不燃 QM-0886	準不燃 QM-0886	約15分
EV6258	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌		空気環境 対応品	F3	準不燃 QM-0399	準不燃 QM-0399	約15分
EV6259	壁・天井用 壁紙	オレフィン 樹脂	92.0	フリー	フリー	—	スマート クリーン	抗菌		空気環境 対応品	F3	準不燃 QM-0399	準不燃 QM-0399	約15分

※オープンタイムの目安は気温20℃、湿度60%、無風時の標準時間です。温度・湿度・風などの環境条件により時間が変わりますのでご注意ください。

※不陸隠蔽性等級：数字の大きい方が隠蔽性に優れています。